

奨励 《神学生教育と伝道者養成のために》

天野 有(西南学院大学神学部長)



全国の諸教会・伝道所の兄弟姉妹の皆さま、いつも祈りの内に支えてくださり、ありがとうございます。さて、始業礼拝・開講講演(4月6日)から一カ月半が経ちました。しかし、特にここ数年間の神学部の歩みを繰り返し想起しながら、今、私共には、神学部全体としてかなり明確な思いが与えられているように感じております。その思いについては『神学部報』巻頭言に詳しくお書きしましたが、ここでは、その同じ思いを、若き宗教改革者(ルター)の言葉を引用することで伝えさせていただきます。それは「牧師」について語ったものです。「あらゆる配慮のうちで最大にして第一のものは——それを私はあなた方の心の中に炎の文字で書き記しうららう——、牧師たちが何はさておき真理の言葉をたっぷり届ける、とい

うことである。〈神の言葉〉ではなく〈人間の言葉〉が証しされているところでは一体何が生まれるだろう！そこで語られる〈言葉〉どおりに誕生は起こり、その誕生どおりに神の民は形成されるのだ。主の使者であり、〈神の言葉〉と共にこの民に先立ち歩み、神による誕生のためにこの民に仕える者、ただそのような者だけが牧師である。教会は、〈神の言葉〉から・〈神の言葉〉によって、以外の仕方では、その本質に従って誕生し、また存続することはありえない(ヤコブの手紙一18)(H・J・イーヴァント『ルターの信仰論』)。神学部は、「外に向かつての奉仕のための(神の言葉への内的)集中」(D・ボンヘッファー)を実践する主イエス・キリストを中心とした交わりへと——悔い改めつつ——「心を新たにして」(ローマの信徒への手紙一2)歩み始めています。今後も、更なるお祈りをお願い申し上げます。

2017年度神学校週間にあたって 全国壮年会連合副会長(神学校献金推進担当) 野口正俊(志村バプテスト教会)

神学校週間(2017年6月25日(日)～7月2日(日))は、日本バプテスト連盟、全国壮年会連合において「伝道者養成の業への参与」の具体的な働きを覚える重要な「週間」となっています。また、伝道者を送り出すことも教会形成の重要な働きの一つであることから、神学校献金(神学生奨学金献金)推進への取り組みは「教会形成を担う壮年の働き」とも不可分であることは言うまでもありません。

そのため私たち壮年は、あらたな伝道者を生み出し、神学生を支える働きのために用いられることを大きな願いの一つとしております。

しかし、神学校献金(神学生奨学金献金)推進は決して壮年たちだけの業ではありません。その働きは、信徒一人ひとり、教会・伝道所一つひとつに主によって与えられた業でもあるのだと思います。

全国壮年会連合は様々な場において、西南学院大学神学部学生奨学金制度奨学金の財源確保のために、さらに連立等神学校(東京バプテスト神学校専攻科、九州バプテスト神学校牧師コース)に設けられている神学生奨学金制度の支援のために神学校献金(神学生奨学金献金)を全国の諸教会に呼びかけ、推進しています。

ご存知の通り、無牧師の教会・伝道所が増える傾向にあります。必要とされる伝道者を満たすためには、西南学院大学神学部だけでも毎年25名以上の神学生を送り出したいと願っております。ひとりでも多くの献身者が送り出され、ひとりでも多くの伝道者が生み出されるようにとの願いを持って神学校週間を迎えましょう。

西南学院大学神学部(大学院生含む)、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校において伝道者を目指して学ぶ神学生のために祈りましょう。また、送り出してくださる教会・伝道所のためにも祈りましょう。

神学校献金(神学生奨学金献金)の推移

年度	献金額
2009年度	2,411万円
2010年度	2,325万円
2011年度	2,345万円
2012年度	2,228万円
2013年度	2,292万円
2014年度	2,284万円
2015年度	2,227万円
2016年度	2,235万円

西南学院大学神学部及び東京・九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生 神学生氏名(学年、よみ、推薦教会)

【西南学院大学神学部】 21名 <2017年度奨学金貸与者数：15名>	
博士後期	城 俊幸(3年・たちとしゆき・西戸崎(牧師))
博士前期	泉 選也(2年・いずみ えりや・下関(牧師))、福久織江(2年・ふくひさ おりえ・函館)、三上 充(2年・みかみ まこと・金沢)、元川信治(2年・もとかわ しんじ・調布)、平野健治(1年・ひらの けんじ・大井)、永山辰原(1年・ながやま ときはら・福岡西部)、伊原幹治(1年・いはら かんじ・福岡ベタニヤ村)
専攻科	伊藤真嗣(いとう まさつぐ・相模中央)、遠藤光子(えんどう みつこ・別府国際)
学部神学コース	川久保拓也(4年・かわくぼ たくや・ふじみ野)、カandel ジャナク(4年・かんでる じゃなく・福岡新生)、杉本拓哉(4年・すぎもと たくや・宇都宮)、黄 善楨(4年・ふあん そんぢょん・単立 福岡盤石)、小櫻 信(3年・こざくら まこと・大阪)、高橋周也(3年・たかはし ひろや・花小金井)、西本詩生(3年・にしもと しなる・恵泉)、安里道直(2年・あさと みちなお・東風平)
選科	加山 献(3年・かやまささぐ・新潟主の港)、原田 賢(2年・はらだ けん・大宮)
神学部研修生	諸岡寛(もろおか ひろし・平尾)
【東京バプテスト神学校】 9名 <2016年度奨学金支給予定者数：6名(第1回連盟理事会にて決定)>	
神学専攻科	郭 淑(かく しゅく・厚木国際)、澁谷和美(しぶたにかずみ・那覇新都心)、林 雄植(いむ うんしゅく・渋谷)、中根 浄(なかね きよし・花小金井)、大野 夏希(おおの なつき・大泉)、陳 ピルラン(ちん びるらん・茂原)、芦沼 光雄(あしぬま みつお・ふじみ野)
教会教育専攻科	田中宜之(たなか のぶゆき・筑波)
教会音楽専攻科	澤田ルツ子(さわだ るつこ・千葉)
【九州バプテスト神学校】 7名 <2016年度奨学金支給予定者数：3名(第1回連盟理事会にて決定)>	
牧師コース	香月太郎(かつき たろう・早良)、田口圭子(だぐち けいこ・長崎)、中村聖架(なかむら きよか・長崎)、竹下由美子(たけした ゆみこ・単立なごみグレースチャーチ)、田口清吾(たぐち せいご・岐阜)、飛永 孝(とびなが たかし・福岡城西)、後藤 寿(ごとう ひさし・各務原)

【神学校献金(神学生奨学金献金)について】

【名称】神学校献金は従来から、西南学院大学神学部で学ぶ神学生(大学院生も含む)の授業料と生活費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきましたが、2012年の連盟定期総会において連立等の神学校で伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられることになりました。そこで「神学校献金」の使途を明確にするため、2013年度より「神学校献金(神学生奨学金献金)」という名称に変更いたしました。

【使途】西南学院大学神学部神学生の奨学金並びに東京バプテスト神学校(専攻科)及び九州バプテスト神学校(牧師コース)で伝道者になるために学ぶ神学生に用いられています。

【内容】西南学院大学神学部神学生には1種奨学金の貸与と2種奨学金の給付をしています。東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生には、授業料の一部を奨学金として支弁しています。

【返還】西南学院大学神学部神学生の1種奨学金は貸与ですから、返還の義務があります。ただし、卒業後4年以上伝道の業に従事し、卒業後10年以内に1種奨学金の2割以上返還した場合、その残額の返還は免除されます。2種奨学金は給付なので返還の必要はありません(奨学金規程による)。なお東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生については、両神学校の奨学金規程により返還の適否が判定されます。

【献げ方】毎年6月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を通して神学校献金を献げているところも増えています。全国壮年会連合は本活動を積極的に推進していますので、壮年の皆さまにはぜひ教会に働きかけていただき、教会全体の業となっていくことを期待しています。具体的な働きは『壮年会連合ニュース』などでも紹介しています。